

2. 当社は2025年12月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2025年8月期については、当該株式分割前の実際の配当金の金額を記載しております。2026年8月期（予想）については、当該株式分割後の数値を記載しております。

3. 2026年8月期の連結業績予想（2025年9月1日～2026年8月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	7,525	14.6	454	66.5	451	65.8	275	226.8	28.10
通期	16,010	13.1	965	16.4	960	23.5	586	31.5	59.79

（注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は2025年12月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2026年8月期業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割後の数値を記載しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年8月期1Q	10,404,840株	2025年8月期	10,373,520株
② 期末自己株式数	2026年8月期1Q	600,381株	2025年8月期	600,381株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年8月期1Q	9,798,718株	2025年8月期1Q	10,073,838株

（注）当社は、2025年12月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善と物価上昇率の鈍化を背景に個人消費が持ち直し、企業収益も堅調に推移しました。景気は緩やかな回復基調を維持する一方、米国の利下げ再開や中国の構造改革、欧州の財政拡張で世界経済の成長期待が高まっています。ただし、中東情勢や原油高など外部リスクは残り、為替変動や資源価格の不安定さも企業活動に影響します。国内では半導体・自動車関連輸出が回復し、設備投資はDX（デジタルトランスフォーメーション）対応等を目的とした投資が拡大傾向を示し、製造業・サービス業でデジタル化需要が高まっています。

こうした環境下、当社グループは生成AIの進화를背景に市場を先取りし、積極的な投資と開発を進めています。AIの検証段階を経て、実業務への組み込みと継続的活用を前提としたソリューションを迅速に展開し、顧客ニーズに応えるだけでなく新たな価値創出をリードする体制を構築しています。今後もAI活用を軸に革新的サービスを加速し、競争優位性を確立します。

これらの取り組みにより、クラウド基盤と生成AIを活用したDXソリューション強化と推進し、AI駆動開発で効率と品質を高度化しました。その結果、高付加価値案件の受注が増加し収益基盤を強化しました。積極的な営業活動で大口顧客数やプライム比率も前年を上回り、2024年11月にグループ入りした株式会社ピー・アール・オーの業績を加え、売上高・利益とも前年比で大幅増となり、グループ全体の成長を押し上げました。

適切な稼働率維持とコスト管理により、売上総利益率は上昇し、営業利益率も改善しました。さらにROEや自己資本比率など資本効率指標も安定的に推移し、財務健全性と収益性を両立しました。今後は案件リード獲得や稼働率向上、原価管理徹底を図り、AI・DX関連の高付加価値案件拡販を通じて収益基盤強化と企業価値向上に努めます。採用活動や離職対策、教育研修など人的資本投資も計画どおり進め、AI活用や品質管理強化など組織基盤強化施策にも注力します。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高3,896,253千円（前年同期比31.4%増）、売上総利益1,224,591千円（前年同期比60.7%増）、営業利益261,175千円（前年同期比282.3%増）、経常利益271,303千円（前年同期比477.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益124,994千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失12,234千円）、EBITDA（営業利益＋減価償却費＋のれん償却額）は312,507千円（前年同期比232.4%増）となりました。

なお、当社グループは、DXソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は5,099,886千円となり、前連結会計年度末に比べ76,688千円増加いたしました。これは主に売掛金及び契約資産が123,168千円、流動資産のその他が84,095千円それぞれ増加した一方で、現金及び預金が130,575千円減少したことによるものであります。

固定資産は1,611,583千円となり、前連結会計年度末に比べ128,159千円減少いたしました。これは主にのれんが19,542千円、投資有価証券が35,577千円、繰延税金資産が58,147千円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は6,711,469千円となり、前連結会計年度末に比べ51,471千円減少いたしました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は4,031,190千円となり、前連結会計年度末に比べ44,495千円減少いたしました。これは主に短期借入金が147,500千円、賞与引当金が131,872千円、流動負債のその他が185,255千円それぞれ増加した一方で、未払費用が290,501千円、未払法人税等が208,850千円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は451,276千円となり、前連結会計年度末に比べ66,949千円減少いたしました。これは主に長期借入金51,044千円、社債が10,000千円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は4,482,467千円となり、前連結会計年度末に比べ111,444千円減少いたしました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は2,229,002千円となり、前連結会計年度末に比べ59,972千円増加いたしました。これは主に利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上より124,994千円増加した一方で、配当金の支払により65,154千円減少したことによるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は32.6%（前連結会計年度末は31.4%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年8月期の連結業績予想につきましては、2025年10月14日に公表しました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,912,067	2,781,491
売掛金及び契約資産	2,015,202	2,138,370
その他	118,983	203,078
貸倒引当金	△23,054	△23,054
流動資産合計	5,023,198	5,099,886
固定資産		
有形固定資産	318,192	295,889
無形固定資産		
ソフトウェア	58,262	52,240
のれん	723,066	703,523
その他	156,052	170,142
無形固定資産合計	937,381	925,907
投資その他の資産		
投資有価証券	50,248	14,671
繰延税金資産	195,591	137,444
その他	255,553	255,702
貸倒引当金	△17,223	△18,031
投資その他の資産合計	484,169	389,786
固定資産合計	1,739,743	1,611,583
資産合計	6,762,941	6,711,469
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,104,621	1,135,137
短期借入金	940,000	1,087,500
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	190,321	185,283
未払費用	858,577	568,076
未払法人税等	318,608	109,758
賞与引当金	67,545	199,417
役員賞与引当金	38,200	15,527
受注損失引当金	15,674	3,098
その他	522,136	707,391
流動負債合計	4,075,685	4,031,190
固定負債		
社債	30,000	20,000
長期借入金	351,128	300,084
長期末払金	22,102	20,092
退職給付に係る負債	91,228	87,317
資産除去債務	23,767	23,782
固定負債合計	518,225	451,276
負債合計	4,593,911	4,482,467
純資産の部		
株主資本		
資本金	141,717	142,150
資本剰余金	244,219	244,653
利益剰余金	2,046,296	2,106,137
自己株式	△308,248	△308,248
株主資本合計	2,123,985	2,184,692
非支配株主持分	45,044	44,310
純資産合計	2,169,029	2,229,002
負債純資産合計	6,762,941	6,711,469

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2025年11月30日)
売上高	2,964,419	3,896,253
売上原価	2,202,294	2,671,662
売上総利益	762,125	1,224,591
販売費及び一般管理費	693,809	963,415
営業利益	68,316	261,175
営業外収益		
受取利息	220	214
助成金収入	—	5,163
保険解約返戻金	—	8,008
その他	281	2,097
営業外収益合計	501	15,485
営業外費用		
支払利息	2,027	4,762
社債利息	—	106
持分法による投資損失	19,510	455
その他	309	31
営業外費用合計	21,847	5,356
経常利益	46,970	271,303
特別損失		
本社移転費用	27,501	—
特別損失合計	27,501	—
税金等調整前四半期純利益	19,468	271,303
法人税等	31,703	147,043
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△12,234	124,260
非支配株主に帰属する当期純損失（△）	—	△733
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△12,234	124,994

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年9月1日 至 2024年11月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年9月1日 至 2025年11月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△12,234	124,260
四半期包括利益	△12,234	124,260
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△12,234	124,994
非支配株主に係る包括利益	—	△733

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第1四半期連結会計期間において、持分法適用関連会社であった株式会社emotiveEの全株式を譲渡したことから、持分法適用の範囲から除外しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2025年11月30日)
減価償却費	25,708千円	31,789千円
のれんの償却額	—	19,542

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、DXソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更)

当社は、2025年9月24日開催の取締役会に基づき、2025年12月1日付で株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更を行っております。

(1) 株式分割の目的

株式分割により株式1株当たりの投資金額を引き下げ、株式の流動性の向上及び投資家層の拡大を図ることを目的としております。

(2) 株式分割の概要

① 分割の方法

2025年11月30日（日）（実質的には2025年11月28日（金））を基準日として、同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する普通株式1株につき、3株の割合をもって分割いたしました。

② 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	3,468,280株
株式分割により増加する株式数	6,936,560株
株式分割後の発行済株式総数	10,404,840株
株式分割後の発行可能株式総数	38,676,000株

③ 分割の日程

基準日公告日	2025年11月14日（金）
基準日	2025年11月30日（日）（実質的には2025年11月28日（金））
効力発生日	2025年12月1日（月）

④ 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2025年11月30日)
1株当たり当期純利益	△1.21円	12.76円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	－円	12.45円

(注) 2025年8月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(3) 株式分割に伴う定款の一部変更

① 定款変更の理由

今回の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき、2025年12月1日をもって、当社定款第5条で定める発行可能株式総数を変更いたしました。

② 定款変更の内容

現行定款	変更後定款
第5条（発行可能株式総数） 当社の発行可能株式総数は、 <u>12,892,000株</u> とする。	第5条（発行可能株式総数） 当社の発行可能株式総数は、 <u>38,676,000株</u> とする。

③ 定款変更の日程

効力の発生日 2025年12月1日（月）

(4) その他

① 資本金の額の変更

今回の株式分割に際して、資本金の額の変更はありません。

② 新株予約権の行使価額の調整

今回の株式分割に伴い、2025年12月1日の効力発生日と同時に新株予約権の1株当たり行使価額を以下のとおり調整いたしました。

	調整前行使価額	調整後行使価額
第1回新株予約権	83円	28円
第2回新株予約権	83円	28円
第4回新株予約権	525円	175円